

令和3年度 学校だより 3月号 2月28日発行

横浜市中区山元町3-152  
電話 641-4857



# やまもと

横浜市立山元小学校  
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子



## 休眠打破

校長 石田 薫

早春の候。保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ここ2,3日暖かくなってまいりましたが、今年の冬は例年に比べて寒さが厳しく、校庭は毎朝全面に霜が降りていました。水はけも日当たりも良い本校の校庭ですが、中休みは、霜が溶け、ぬかるみ外遊びをできる状態ではなく、子ども達にとっては、恨めしい霜でした。

例年は蕾が膨らみ始める校庭の桜もまだ、硬いまです。横浜の開花予想は例年より若干遅く3月23日だそうです。3月18日には、この一年間、山元小のリーダーとして101年目の学校を中心になって創ってきた6年生が巣立っていきます。現在、まだまだ、様々な制約がありますが、山元小学校らしく全校皆で温かく子ども達を巣立たせたいと思っております。

さて、桜は、花が散ったとき既に翌年の花芽ができています。その花芽はとて小さく、硬いものです。そして、冬に眠りにつき一定期間低温にさらされます。春が近づき、気温が高くなると花芽が眠りから覚めます。これを『休眠打破』と言い、桜が開花するためには必要な過程だそうです。寒いはずの冬が暖か過ぎる場合には、『休眠打破』が行われず開花が遅れることがあるといえます。

人の成長にも重なるものを感じます。思い通りにいかず、努力や苦労を重ね、いくつものハードルを乗り越え、目標を達成することが休眠打破であり、そこには大きな成長があります。

この一年、一人ひとりの子どもが学習において、そして人間関係においていくつ

ものハードルを乗り越えて成長してきました。保護者の皆様におかれましては子どもたちの成長を温かく支えていただき感謝申し上げます。

また、今年度も学校へのご理解・ご協力そして温かいご支援、誠にありがとうございました。